

碧山だより



夏休み臨時号
令和5年7月18日
西東京市立碧山小学校
<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-hekizan/index.html>

校長の宿題

校長 稲富 泰輝

7月3日(月)の全校朝会で、「校長先生も調べ学習」をしていることを話しました。それは、学校に届く、夏休み期間のコンクールを調べることです。職員室の先生たちの机の上には、多くのコンクールが届いています。

そんなとき、私は、「碧山小学校ノートまとめ」の取り組みとの関係に気付きました。「碧山小学校ノートまとめ」では、子どもが思っていること、考えていることをみるようにしています。いつも、子どもに「やってみよう」というだけではなく、今回は私が夏のコンクールについてノートまとめをしてみよう。どんなコンクールがあるか調べてみようと考えました。(そのため、私なりのノートまとめの作品で、碧山だよりを臨時で出させていただきました。)

学校に届いたコンクールは、このプリントの裏のとおりです。文字数が多いので、碧山だよりはいつもA4サイズで発行していますが、B4サイズで出しています。

まとめるときに、「種類(仲間分け)」「難易度(レベル)」もつけています。そして、番号をつけたものは、タブレット端末で簡単なコメントの動画を掲載しています。動画を見るには、「碧山小学校ノートまとめ」(3年生以上には4月に示しましたが、「(この部分は紙で配布した学校だよりに記載しました)」と碧山小学校の子どものタブレット端末なら、専用のクラスルームに入ることができます。)のクラスルームに入ってください。

久々に、子どもに戻った気分で宿題に取り組んでみました。とても多くのコンクールがあることに気付きました。校長として、全校朝会や碧山だよりでいつも言っている「自律」にあてはめると、「このコンクールをやりなさい」というよりも、「自分はどのコンクールに取り組もうか?」と自分で決めることが大切だと考えました。

そして、もう一つ。下の絵を見てみましょう。

左の男の子は心の中で、

「あー。何で勉強なんてあるんだろう。いやだなあ。」
と思っています。右の女の子は、「勉強したことを、今回のコンクールで生かそう。」と集中できている様子です。

まさしく、今回紹介するコンクールは、今までに勉強したことを生かして取り組む、よい機会となります。「勉強って、何のためにやるんだろう？」という疑問も晴れるかもしれません。

夏休みに入る前、夏休み期間、校長の私が碧山小学校で働いている時、会議以外のときは校長室のドアを開いておきます。気軽にコンクールのことを聞きに来てください。その時に、コンクールの前に付いている番号を言ってください。

○そのコンクールに必要なこと（用紙など）を説明して、渡せる用紙などは用意します。

○動画では分からない部分は、説明します。

○コンクールへの応募を学校でまとめて行います。

○作品で不安があるときには、相談にのります。

さあ、自分の力を発揮できる、夏休みにしましょう。

（ホームページ用の碧山だよりは、絵とコンクール一覧は省略しています。）